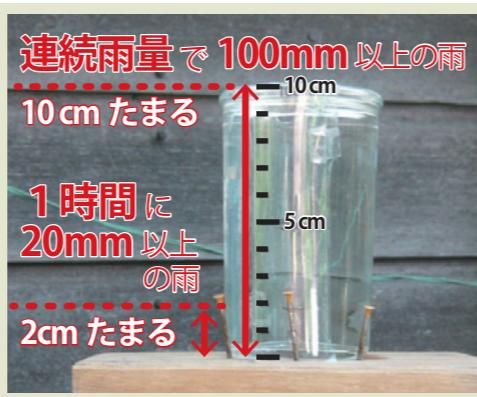


！雨量に注意する習慣をつけましょう

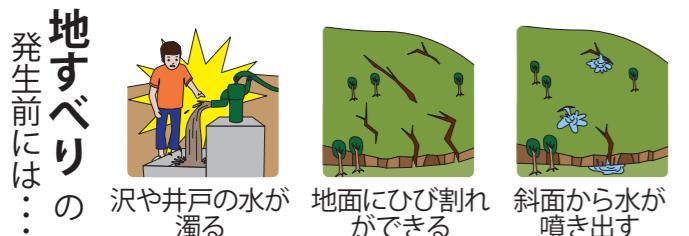
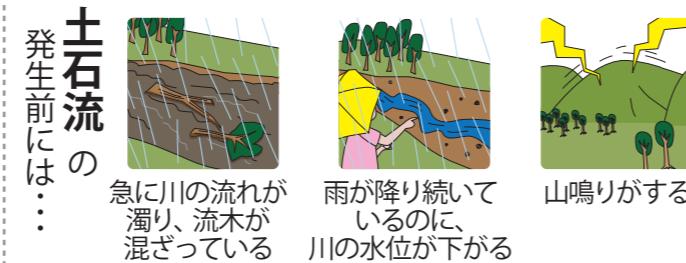
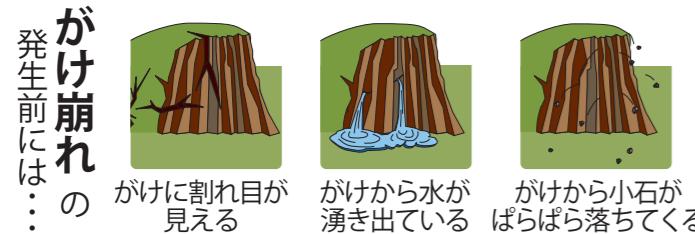
気象予報などを見ると、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。

右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



！前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう



この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとるなど

！情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう

テレビ・ラジオ
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ



緊急速報メール（エリアメール）



いわてモバイルメール
※QRコードから登録できます



防災行政無線・広報車・防災釜石広報 ☎ 0800-8003199
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



自主防災組織（町内会）



家族、ご近所、お知り合いに聞くのも立派な情報収集！！

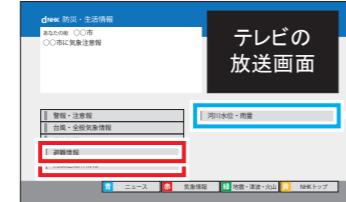
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの④ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

③ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

箱崎白浜町内会・仮宿町内会

洪水・土砂災害 自主避難計画

当町内会では、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

1 日頃から住民全員がやっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認 !!
- 雨量に気を配る習慣をつけましょう !!



『洪水・土砂災害緊急避難地図』（中面）を確認しておきましょう

2 雨が降り始めたら・・・

各自で雨量を計測
(裏表紙を参照)

→ **自主避難の基準** となる現象が
起きていないか確認 !!



3 自主避難基準に達したら、 町内会（自主防災部）に報告し、それがすぐに避難対応！ → 状況を共有して町内会みんなで避難対応！



自主避難基準 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- 釜石市役所が“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した場合
- 1時間雨量 30mm を超えた場合
- 連続雨量 100mm を超えた場合

当面の運用基準
※雨の降り方を考慮し定期的に更新予定

いざというときの避難対応

『「早めの避難」が重要！避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です』

箱崎白浜町内会

仮宿町内会

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合

鶴住居小学校・釜石東中学校 第1体育館・第2体育館 へ避難

※あくまで「地域内」で比較的安全な場所です。

遠くまでの避難が困難な場合

箱崎白浜集会所 へ避難

鶴住居公民館仮宿分館 へ避難

移動に危険が伴う場合

かけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上 へ避難

道路の冠水など、危険を感じた場合は無理をせず引き返しましょう

状況によっては自宅待機が最も安全な場合もあります



※この計画は平成30年12月～平成31年2月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、箱崎白浜町内会・仮宿町内会として検討したものです。

洪水・土砂災害緊急避難地図

箱崎白浜町内会
仮宿町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しうすぎ、地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげることが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 比較的安全と思われる場所や建物
- 自主避難の基準
- 大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄

土砂災害の危険性
(岩手県砂防基礎調査結果および
土砂災害対策検討図に基づく)

- 土砂災害の危険性が特に高い区域
(急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)・土石流)
- 土砂災害の危険性が高い区域
(急傾斜地(かけ崩れ)の崩壊)
- 土砂災害の危険性が高い区域
(土石流)

大雨時に起きたことを記録しておき、

- 自主避難の基準を
見直し続ける

